

ほんごう一彦2016年

県政の窓を通して活力ある松本を実現します！



長野県議会議員
自由民主党県議団
団長 本郷一彦

松本市の主要課題と対応策



1. 商店街の活性化

地域経済の重要な担い手である商工会議所への助成、衰退傾向にある商店街の活性化と商業基盤の整備を目指し、「街なかにぎわい事業」や「まつもと城町バル」などの開催を元気づくり支援金等で助成していますが、今後も賑わいある街づくりに向け更なる支援を行って参ります。



2. 中小企業支援対策

低利・長期の各種融資制度を紹介・斡旋し、管内事業者の資金需要に対応して参ります。創業者には、「創業支援資金」の斡旋や「創業等応援減税」を紹介するとともに27年度に松本地方事務所に配置した「創業・ベンチャー推進員」の活動などにより、創業支援体制を強化して参ります。



3. 健康寿命延伸産業の創出

経済産業省の健康寿命延伸産業創出事業の候補に選定された長野県と松本市の計画に沿って、県と市が連携を図りながらヘルス関連産業のイノベーション（革新）を推進して参ります。



4. 農業の再生と新たな振興策

農業の活性化の為、(1)意欲的な担い手の確保・育成策、(2)人・農地プランの実現、(3)6次産業化、(4)地産地消などに取り組むとともに所得の向上に向け、(4)-1 地域に応じた農地集約策、(4)-2 中山間地域での農産物の高付加価値化、(4)-3 反収向上策、(4)-4 単価向上（販売）策、(4)-5 生産費抑制策、(4)-6 流通経費抑制策などを総合的に進めて参ります。



5. 信州まつもと空港の国際空港化の実現に向けて

関係機関と連携を密にして、札幌・福岡線の安定的な運航を確保しつつ、福岡線の複便化の定着及び大阪線の運航期間の拡大を図るとともに、国際及び国内チャーター便の誘致に積極的に取り組むことにより、更なる利便性の向上と利用者数増加に努め、最新鋭の三菱リージョナルジェットの就航等を視野に入れ国際空港化の実現を目指して参ります。



6. 医療・介護・福祉施設の充実

地域包括ケアシステムを軸に、医療・介護の地域体制の構築を図ります。松本市では「児童館・児童センター」の整備が課題となっていますが、27年度に実施した芳川児童センターの大規模改修等、「社会福祉施設等整備事業補助金」により支援を行って参ります。



7. スポーツ施設の活性化

松本山雅のホームスタジアムであるアルウィンについて、トイレ改修・増設や修繕工事を行っておりますが、スタンド屋根の拡張など、観客の快適性とサービスの更なる向上を求めて参ります。

8. 観光幹線軸の整備

26年度から用地補償を始めている中部縦貫自動車道松本波田道路の早期着工を目指すとともに、国土交通省の権限代行により27年度中に2号トンネルに着手する国道158号の奈川渡改良等、観光幹線軸の早期完成を目指します。

9. 松本・上小地域間の交流促進

国道143号の会吉工区は、早期完成を目指して工事を進めていますが、その先の青木峠工区の早期事業化の為の調査を実施し、物流の広域化、災害時の緊急救急輸送等の強化、松本地域住民の利便性の向上を図って参ります。

10. 三才山トンネルの無料化

平成26年から利用者の通行料金負担軽減のため、県・市町村・道路公社で5割を負担する制度を導入していますが、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送による東信地域からの誘客促進や住民の利便性の更なる向上の為、早期無料化を引き続き要望して参ります。